

## 第4回実施計画策定会議での意見についての対応及び考え方

番号	意見	対応・考え方
1	<p>床面積の縮減目標を3割と設定しているがその根拠を示すことができるか。</p> <p>人口減少に伴う収入減など、収入の見込みも踏まえて、目標を考えるべきではないか。</p>	<p>現状と同じ規模(年 18.6 億円)の予算を確保しマネジメントの財源とすることで、目標の達成を目指していきます。</p> <p>人口減少に伴う税収減は予想されますが、1-7「マネジメント目標の設定」の末尾に挙げた「一元的な管理による維持管理費の縮減」、「運営の合理化による人件費等の縮減」等により、財源を確保していきます。</p>
2	<p>床面積の縮減目標を3割と設定する妥当性はあるか。市民病院や競艇場を考慮に入れた3割縮減なのか。</p> <p>競艇場の面積を除外して1人あたり公共施設面積を計算してよいのではないか。</p>	<p>蒲郡市特有の施設である競艇場(43,838 m<sup>2</sup>)を除いて計算すると、1人当たり面積は、4.00 m<sup>2</sup>になりますが、全国平均と比較して多く、県内の市の中でも上位であることは変わらないため、人口減少率よりも高い割合の床面積の縮減が必要であると考えます。</p> <p>競艇場を除いて考えた場合の全国との比較及び、県内の他市との比較について1-3-2「公共施設の現状」に追記しました。</p>
3	<p>将来ビジョンを踏まえてどのような公共施設に焦点をあてるか考えていくべきである。モデルケースが他市町村にあれば比較して参考にすべきではないか。</p>	<p>モデルケースについては、先に発行している基本方針に事例として掲載しています。実施計画は、そちらに掲載された事例等、他自治体の事例を参考にして作成しております。</p> <p>今後も、他自治体の良い事例を参考にしながら公共施設マネジメントを進めていきます。</p>

番号	意見	対応・考え方
4	博物館は図書館や市民会館などとの複合化を考えられないか。できるだけ多機能化し、余剰地などを活用すべき。優先順位を立てるべきである。	第3章「施設用途別の方向性」に記載した平成38年度までの取り組みを優先的に推進していきます。 具体的な再編事業の内容は、個別計画で示す予定です。
5	目標と施設分類ごとの個別方針に整合性はあるか。 整合性が取れていないのであれば、長寿命維持と決めてしまうと、今後、全体を経営的感覚で考えていくプロセスの足かせになる。	実施計画に記載された取り組みを実施することにより、目標②を達成できることは試算により確認しています。 長寿命化する建物についても、更新時に概ね3割の床面積を縮減する目標を適用していきます。 また、「長寿命維持」と記載した建物についても、目標の達成状況等を踏まえて適宜計画の見直しをしていきます。
6	機能統合や複合機能を持たせるという記述が各所にみられるが、現状の縦割りの所管部署が建物を中心に調整する方法ではできないため、第5章の組織体制と矛盾している。	5-3「実行体制」を修正しました。 施設所管課が策定する個別計画について、公共施設マネジメント担当部署が、実施計画との整合性の確認などの策定管理や実行管理を行うことで総合的な調整を行うことができる体制であることが分かるように表現を修正しました。 また、見直し検討委員会と財政担当部署の間で予算調整を行うことを明記し、委員会での決定事項に基づき、実行が担保される体制にしました。
7	公営住宅を民間借上げ住宅にして手放してもよいのではないか。	現時点では、当面使用できる公営住宅は寿命まで使うことが費用面で有効と考えていますが、更新を考えなければならない時にはご指摘のとおり、民間賃貸住宅の借上げも含めて検討していきます。

番号	意見	対応・考え方
8	<p>若者まちづくりミーティングでは若者視点の意見が挙がっているが、素案では耐震や市財政の問題点が中心となっている。若者の意見を取り入れて計画が作られているのか。</p> <p>また、今後、若者の意見の鮮度が落ちてしまうことが懸念される。</p>	<p>若者まちづくりミーティングでは、「身の丈にあった」施設総量・施設規模にしていく必要性を理解いただいた上で、魅力的なまちにするための方策を考えていただきました。</p> <p>実施計画には、若者まちづくりミーティングでの意見を随所に反映させています。</p> <p>今後も若い方々のご意見を聞き取る機会を設けて意向を反映させていきたいと考えています。</p>
9	<p>3-2「全市利用型施設」の中に、所管部署を横断した取組みのイメージがないと分かりにくいのではないかと。また、ボリューム感や重視するエリアが分かりづらい。抽象的な話からいきなり具体的な話になってしまっているため中間的な部分の検討が必要ではないかと。</p>	<p>「全市利用型施設」についての基本的な方針(3-2-1)の表現を修正し、全市利用型施設についての取組みの概念(方策や効果)を分かりやすくしました。</p> <p>また、リーディングプロジェクトは、エリアとしての取組みであることを分かるような表現に修正しました。</p>
10	<p>博物館をどうするかが重要である。立地が良いので、若者など様々な人たちが集まるようにできる可能性もある。それにもかかわらず38年度までの取組みには何も書かれていない。</p>	<p>博物館の「機能見直し検討」を平成38年度までに行うよう変更しました。</p>
11	<p>博物館を複合化して若者が利用するような施設にするなど利用されるにはどうしたらよいかを検討していく必要がある。複合化によって、総床面積の3割を縮減していくことをイメージしなくてはならない。</p>	<p>個別計画を策定する中で、利用者の満足度を高める方法等を検討していきます。</p> <p>複合化や機能集約を推進することで、目標達成を目指していきます。</p>
12	<p>浜町の施設について、災害などが発生した場合の検討が必要ではないかと。</p>	<p>公共施設の配置や運営方法は、災害時の被害想定を踏まえて検討していきます。</p>

番号	意見	対応・考え方
13	第5章の実行体制が脆弱である。プロパティマネージャーがプロパティ自体を所有、権限を有することが重要である。各部署はサービスのオペレーションを行う部署である。プロパティを所有する部署とサービスのオペレーション部署を分けるべきである。	6番の対応により、見直し検討委員会により総合的な調整が行われ、実行性が確保されるものと考えます。
14	蒲郡市公共施設見直し検討委員会が財政担当部署へ財政について指示をする矢印を図表 5-3 に入れることにより、実行性が担保できるのではないか。	6番の対応により、見直し検討委員会により総合的な調整が行われ、実行性が確保されるものと考えます。
15	総合調整機能をもった部署が横断的な調整をしていかなければいけない。	6番の対応により、見直し検討委員会により総合的な調整が行われ、実行性が確保されるものと考えます。
16	前段の指摘(番号 9)と関連するが、地区利用型施設について、3-3-1(1)「地区の交流拠点の形成」で示された内容は分かりやすい。このようなイメージ図を、全市型利用施設でも示すと良いのではないか。	9番と同じ
17	第4章リーディングプロジェクトはエリアの絵にしてほしい。市民会館周辺をエリアとして考えてほしい。	9番と同じ
18	高齢者の居場所づくりなど市民ニーズを取り入れてほしい。 一部の福祉施設では会議室は空いているが駐車場がないなどの問題があるので検討してもらえたらと思う。	「地区利用型施設」に高齢者の居場所を確保することを地区の住民とともに検討していきます。 また、課題となっている駐車場不足は解消できるよう再編を行います。
19	いろいろと差し迫っていると感じた。計画を実行し、3割削減を頑張っていたきたい。	着実に計画を実行していきます。

番号	意見	対応・考え方
20	蒲郡市の財政が厳しい状態である。最大のピンチが最大のチャンスである。	着実に計画を実行していきます。
21	実行性をどのように担保していくかが問題である。 竹島周辺に道の駅、竹島水族館など、観光地をどうするかビジョンを出してほしい。 明るい話で市民を惹きつけてほしい。	6番の対応により、見直し検討委員会により総合的な調整が行われ、実行性が確保されるものと考えます。 また、2-2-3「魅力」にあるように、観光地に一層のにぎわいをもたせることや市民ニーズに対応した住みやすいまちづくりを進めることで、市民が誇りや愛着をもてるまちを目指していきます。
22	まち・ひと・しごと創生総合戦略の会議にも参加しているが、そちらと内容が重なっている点もある。調整は取っているか。	実施計画は、まち・ひと・しごと創生総合戦略など他の計画を踏まえて作成しています。 今後も、他の計画と整合をとりながら公共施設マネジメントを進めていきます。
23	公有地を利活用して観光を活性化する視点をもって、行政当局も考えてほしい。歳出カットだけでなく、将来の収入を得るための支出もしなければならない。	3-2-12「観光施設」の「基本的な考え方」にあるとおり、「観光都市としてのまちの魅力向上を向上させるための機能向上」を実施してまいります。
24	竹島周辺を巡ったが、良い資源があると実感した。自信をもってマネジメントを行ってほしい。	着実に計画を実行していきます。
25	地産地活の活動をしているが、子育て世代としては、今の子供たちが将来活躍できる市となってほしい。 今後、市民として公共施設がどのようになるかは何を通して知ることができるか。	広報誌やホームページ等により公共施設マネジメントの取り組みを周知していきます。

番号	意見	対応・考え方
26	<p>蒲江市では竹島や市民会館などいろいろな資源があり、市民活動も盛んであるため、蒲江市らしいやり方でやってほしい。</p> <p>市民全員の賛成を得ることは困難であるが、なるべく多くの人に賛成してもらえるようなものを作る必要がある。</p> <p>計画を読むと、分かってもらえるようなものを作ることが大事である。</p>	<p>蒲江市の強みを生かした再編が必要と考えています。</p> <p>市民のご意見を取り込み、なるべく多くの方に賛同していただける個別計画を策定していきたいと考えています。</p>